

所 信

ライオンズクラブ国際協会
2022-2024 年度国際理事候補者
333-C 地区 3R2Z 柏なの花ライオンズクラブ
L 長澤 千鶴子

日本のライオンズの皆様に立候補のご挨拶を申し上げます。

私こと長澤千鶴子は、日本初の女性国際理事を目指し、2022-2024 年度の国際理事に立候補いたします。ぜひ皆様にご支援いただきたく、ここに私の活動実績と立候補の動機、及び抱負を述べさせていただきます。

1. 活動実績

ライオンズクラブ国際協会のモットーは『We Serve』。この実現に、私は、まずは『会員増強』が大切であると考えます。安定したクラブ運営、奉仕の担い手の確保、ドネーション——全ては、十分な会員数の裏付けがあって実現します。

私は、1993 年に柏なの花ライオンズクラブにチャーターメンバーとして入会し、以来 28 年間、クラブ会長、ZC、RC、地区ガバナー（日本で 3 人目の女性地区ガバナー）、エリアリーダーを務めながら、常に会員増強を念頭において真摯に活動してまいりました。その活動の一つ、日本とインドからスタートした FWT（家族と女性チーム）で、第 5 会則地域副リーダーを拝命した 2016 年 7 月、私は『重点施策 FWT の展開／4 つの目標』を全国に発表し、今現在も目標達成に全力で取り組んでおります。

○優れた奉仕を通して行う会員増強（奉仕活動参加促進）

……時代に沿った新たな奉仕の提案。

○家族と共に奉仕の拡大（家族会員の増強）

……会員の多様性の確保、次世代への継承として、家族会員制度の活用を呼び掛ける。

○4 人に 1 人は女性会員／4 年に一度は女性ガバナー誕生（女性会員の確立、女性リーダーの育成）

……FWT コーディネーターへの女性会員の登用。

○支部クラブ結成目標～クラブが 1 つの支部作り（会員維持）

……目標発表後～2021 年 6 月末現在、239 支部結成（1,638 支部会員）。

私自身はライオンズ公認講師プログラム（LCIP）初回開催時にいち早く受講・合格し、その資格を得ました。全国のセミナー、研修会で講演する時、高度な『伝える技術』が必要と考えたからです。

お陰様でクラブ支部作りの理解者は増え続けて、今もその勢いは衰えず、2022 年 6 月末にも 300 支部達成が目前に迫っています。また、私のガバナー時の女性

会員比率 8%でしたが 2021 年は 23%でした。さらに 2023 年には 21 人目の女性ガバナーが誕生する見通しとなり、確実に時代は動いております。

2. 立候補の動機

前述のように FWT は目的ではなく属性でカテゴライズされたチームであるため、その活動は会員増強、リーダーの育成、新たな奉仕など幅広く網羅しています。しかし、私がエリアリーダーとして FWT を担当しながら、強く危機感を持ちましたのが、4 2 9 0、4 4 0 0、4 6 9 0——この直近 3 年間の会員純減数です。日本のライオンズは 3 年間で 1 割超の仲間を失い、今 10 万人の大台割れが目前です。

会員増強の必要性について、一例を挙げます。例えば 1,000 万円のドネーションについて、1 人で実施される組織と、100 人で 10 万円ずつ実施される組織と、どちらも尊い行為ですが、どちらが持続可能な組織でしょうか。より多くの肩で負担は分担すべき、高い頂を求めるなら広いすそ野が必要である——数は力、私は FWT のリーダーからもう一段上の国際理事に立候補して、この機会に強く訴えていきたいと思えます。

特に昨今は会員減に連動しクラブの減少も著しく、活動最小単位であるクラブが弱体化・解散しては、奉仕どころか会員の居場所がありません。会員増強、クラブの強化が喫緊の課題であり、そのためにはあらゆる役職にあるリーダーは危機感を共有し、自ら会員増強へ取り組むべきです。

3. 国際理事候補者としての抱負

昨年 3 月 5 日には、国際協会会員開発部から全世界のクラブに、クラブ支部結成の推奨が発信されました。私はそれをさらに推し進めた、日本発『支部を介して永続的なクラブ作りの循環イメージ』『地区に一つのクラブエクステンション～第二副地区ガバナー就任時にエクステンション目標の支部を結成→第一副地区ガバナー就任時に支部を育成→地区ガバナー就任時に支部からクラブエクステンション』の二つのサイクルを提示致します。

さらに第 103 回国際大会で取り上げられた『ヘアドネーション』を筆頭に、『子ども食堂』『タンスに眠る外貨の活用』『官民協働の古本募金』など、日本では時代に沿った新たな奉仕を開拓してきたことを報告し、奉仕と会員増強は”両輪の関係”であると訴えます。そして数多い選択肢からライオンズクラブを選んでもらうために、会員一人一人が誇りを持てる国際協会のブランド力強化について、世界のリーダーと広く深く語り合います。日本として、OSEAL として、そして国際協会として強く魅力ある組織であり続けるため力を尽くしたいと思います。

私が目指すのは、全てのジェンダー、全ての世代による『We Serve』です。

最後にもう一度、どうぞ私長澤千鶴子の国際理事就任に向け、皆様のお力をお貸しくださるようお願い申し上げます。

2022 年 1 月 13 日記す